

岡山畜産便り1957.10

## 苫田郡で蔓牛造成へふじよし系を基礎牝牛に

去る9月11日苫田郡鏡野町鏡野高校において、和牛登録協会県支部の藤井支部長、柳井技師等立合のもとに、ふじよし系に属する、30数頭の牛について第1回の基礎牛調査が行なわれた。当日はあいにくの豪雨にも係らず奥津、羽出、鏡野の各地より30数頭が出陣され、終始真げんに研究がなされ、関係者の非常な熱意がうかがわれた。

ことの起りは、奥津村森田巷さんの飼養している第一ふじよし号（本登録1825号）が仔出しよく、しかも仔牛が何れも繁殖成績良好で奥津は勿論鏡野、羽出地方の熱心家によって保留されて来たため此処数年来、附近は勿論郡内にふじよし系として注目を集めるに

至りこれが、同地区の熱心家居森惇氏の強力な推進によって遂に蔓牛造成へ踏切ったわけである。

調査の結果は未だ出されないが、体積豊かで資質良くしっかりした背腰は、共通した美点としてはっきり認められ、尚現在別表の系統図譜のとおり同系統の種牝牛を供用して後代検定が行われているので関係者の純粋なしかも異常なまでの熱意と併せて非常な期待がかけられている。

今後特に選択淘汰或は交配指定、保留等、困難な技術的問題が横たわっているが、地元関係者の今後の努力を切望してやまない。第1回調査合同行記（M・W）

# ふじよし系名簿

